

# 参考資料 1

## 申請書類の記入例

課題番号	
受付年月日	
通知日	

### 研究倫理審査申請書

令和 3 年 4 月 14 日作成

※修正再審査の場合は、下線を引くか網掛けを用いるなどして修正箇所がわかるようにしてください。

教育学研究科長 様

#### I. 研究者 ※以下、□欄には該当するものにチェックマークをつけてください。

1. 申請研究者	<input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 院生 <input type="checkbox"/> その他 (            ) 職名：准教授      氏名：岡山 教子 連絡先：内線番号 9999 E-mail kokayama@okayama-u.ac.jp
2. 研究指導者 (申請者が院生の場合)	職名・氏名：
3. 研究代表者 (当該の研究資金代表等が 1.2. と異なる場合)	所属・職名・氏名：
4. 共同研究者 (外部での発表時に連名になる可能性のある個人)	所属・職名・氏名：
5. 実験・調査実施協力者 (申請者以外の研究活動従事者)	<input checked="" type="checkbox"/> 本研究科の教員・学生 <input type="checkbox"/> 本研究科以外の学部や他大学の教員・学生 <input type="checkbox"/> その他 (            )

#### II. 研究の概要

1. 研究課題名	ビデオヒーローモデリングの効果に関する研究
2. 申請分類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再審査
3. 他機関の倫理審査の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無      添付資料の番号と一致させてください。 _____ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 承認済み (提出済の申請書類及び承認書の写しを添付すること：資料[    ]) ) <input type="checkbox"/> 申請中 (提出済の申請書類の写しを添付すること：資料[    ]) ) <input type="checkbox"/> 申請予定 (提出予定の申請書類の写しを添付すること：資料[    ]) )
4. 研究区分 (該当する者にはすべてチェックを入れること。)	<input type="checkbox"/> 質問紙調査 <input type="checkbox"/> 面接調査 <input checked="" type="checkbox"/> 実験研究 <input type="checkbox"/> 事例研究

	<input type="checkbox"/> フィールド（観察）研究 <input type="checkbox"/> 授業実践研究 <input type="checkbox"/> その他（ ）
5. 研究期間 (院生の場合は通常、在籍予定期間までとなる。)	承認日～2022年3月
6. 研究資金	<input type="checkbox"/> 学内予算 <input checked="" type="checkbox"/> 公的外部資金（研究費名：科学研究費） <input type="checkbox"/> 民間の研究費（ <input type="checkbox"/> 助成金 <input type="checkbox"/> 受託研究 <input type="checkbox"/> 共同研究 <input type="checkbox"/> 奨学寄附金） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 特になし
7. 研究目的と意義 (別添可。 別添の場合は資料番号を明記すること。)	<p>知的障害のある自閉症スペクトラム障害児の中には、機関車トーマスやアンパンマン、ポケモン、あるいは恐竜や昆虫など、テレビや映画、漫画でのキャラクターや生物等に対して「特別な興味」を示す者が少なからず存在する。この特性を指導の中に生かそうという発想の下、申請者が開発した方略がビデオヒーローモデリング（VHM）である。VHMでは、子どもが学習・生活する場に特別な興味（ヒーロー）が登場し、その子どもに身に付けてほしい行動（目標行動）をヒーローがモデルとなって示す様子が映し出される。本研究では、この新たな指導法の有効性を検証したい。本人や他者を用いたビデオモデリングの効果については多くの先行研究があるが（Bellini &amp; Akullian, 2007によるレビューを参照のこと）、特別な興味を用いたビデオモデリングについての先行研究は皆無である。有効性が認められれば、キャラクターや生物等に特別な興味を示す知的障害のある自閉症スペクトラム障害児が楽しみながら日常生活スキルを獲得できる指導法を教師や保護者に紹介することができる。</p>
8. 研究手続き (対象者が実際に行う事柄を明確に説明すること。 別添可。 別添の場合は資料番号を明記すること。)	<p>資料1を参照のこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">添付資料の番号と一致させてください。</div>
9. 研究（実験・調査・訓練など）実施場所	A 県立 B 特別支援学校小学部教室（具体的な学級は未定）
10. 期待される研究成果 (当該研究が完成することによってどのような貢献がなされるかについて、具体的にわかりやすく記載すること。)	<p>申請者はすでにヒーローをモデルとして登場させるビデオを作成し、知的障害のある2名の自閉症スペクトラム障害児の生活・教科スキルの改善のためにそれらを試行的に用いている。2名とも嬉々としてビデオを視聴し、「(ヒーロー名) みたいにやる」と言って実際場面で目標行動を生起させた。多数の事例においてビデオヒーローモデリングによる目標行動獲得への効果が示されれば、「キャラクターや生物等に対して特別な興味を示す自閉症スペクトラム障害児が楽しみながら日常生活スキルを獲得する」という理想的な学びを実現させる方略を教師や保護者は手にすることになる。</p>

<p>11. 研究成果の公開方法 (正式な学会名、電子媒体での発表の可能性などを具体的に記載すること。)</p>	<p>国際自閉症学会や特殊教育学会での発表、国際的学会誌 (Focus on Autism and Other Developmental Disabilities, Education and Training in Autism and Developmental Disabilities) への投稿を予定している。</p>
<p>12. 研究対象者や研究協力者への結果のフィードバック</p>	<p>研究対象者：知的障害のある子どもであることを踏まえると、ビデオ視聴後の行動変容に対して即時フィードバックを与える（例えば、「着替え一人できるね」「(ヒーロー名)と同じだね」）ことそれ自体が「研究対象者への結果のフィードバック」であると考えている。また、行動が改善されてきたら、対象児がうまくできているところをヒーローが観察し称賛するビデオを作成し、対象児に見せる予定である。</p> <p>研究協力者：B 特別支援学校長、担任教師、および保護者には、研究の目的、方法、結果、考察に関してわかりやすくまとめた報告書を毎年度末に渡す。</p>

Ⅲ. 研究対象者および個人の情報、データ等の収集・採取について

<p>1. 種別と人数 (予定) (複数回答可。)</p>	<p><input type="checkbox"/>成人 (ここでは 18 歳以上とする)  <input type="checkbox"/>学生 ( 名)  <input type="checkbox"/>その他 ( [ 名])  <input checked="" type="checkbox"/>未成年者 (ここでは 18 歳未満とする)  <input checked="" type="checkbox"/>児童生徒 (<input type="checkbox"/>高校生[ 名] <input type="checkbox"/>中学生[ 名] <input checked="" type="checkbox"/>小学生[9 名])  <input type="checkbox"/>小児 (年齢 歳[ 名])  <input checked="" type="checkbox"/>障害のある対象者 (障害種別と程度：知的障害のある自閉症スペクトラム障害 9 名)  <input type="checkbox"/>その他 ( [ 名])  <input type="checkbox"/>未定・特定不可  <u>総計 9 名程度</u>  <u>性別 男女</u></p>
<p>2. 対象者の選出基準とその根拠</p>	<p>選出基準：知的障害のある自閉症スペクトラム障害があり、かつ、キャラクターや生物等において特別な興味を持つ児童</p> <p>根拠：研究の目的が、知的障害のある自閉症スペクトラム障害児童の特別な興味を利用した日常生活スキルの改善であるので、①キャラクターや生物等に特別な興味のあること、②知的障害のある自閉症スペクトラム障害があること、③6 歳～12 歳であること、④日常生活スキルに課題があることが条件となる。</p>
<p>3. 募集方法 (募集文案等がある場合は添付すること。添付書類がある場合は、資料番号を明記すること。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 県立 B 特別支援学校の学校長に対して、資料 1, 2, 3, 6, 7 を用いて説明を行う。その上で、資料 4 を用いて承諾を得る。</li> <li>・ 学校長から紹介された小学部担任教師に対して、資料 1, 3, 6, 7 を用いて説明を行う。その上で、資料 5 を用いて承諾を得る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">添付資料の番号と一致させてください。</div>
<p>4. 研究対象者に理解を求める方法 (説明文案等を添付)</p>	<p>1. 対象  <input type="checkbox"/>個人</p>

<p>すること。その際、資料番号を明記すること。 インフォームド・コンセント内容確認シートを完成させた上で添付すること。）</p>	<p><input type="checkbox"/> 集団  <input checked="" type="checkbox"/> 代諾者（代諾者を用いる場合は、それが誰であるか、また、なぜ代諾者を用いるのかについて説明すること）  <b>対象児に対しては、ビデオ視聴に誘った時に拒否することなく自発的に着席しビデオ画面を注視する行動を確認することで、研究参加に同意したとみなす。</b>  <b>インフォームド・コンセントの詳細については、対象児がその抽象的内容を理解することは困難であるため、個別の指導計画に関する懇談会の機会を利用し、その会に出席している保護者に説明を行う。</b></p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">添付資料の番号と一致させてください。</p> <p>2. 方法  <input checked="" type="checkbox"/> 書面と口頭（資料6）  <input type="checkbox"/> 書面のみ（理由を説明すること）（資料[ ]）  <input type="checkbox"/> 口頭のみ（理由を説明すること）</p> <p>3. 実施者（申請者と異なる場合：所属・職名・氏名）  <b>申請者が行う。</b></p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">添付資料の番号と一致させてください。</p>
<p>5. 研究対象者の同意を得る方法  （同意書を添えること。）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同意書への署名（資料7）  <input type="checkbox"/> 調査票への同意の署名（資料[ ]）  <input type="checkbox"/> 同意は得るが署名は求めない（理由を説明すること）  <input type="checkbox"/> 同意を得ない（理由を説明すること）</p>
<p>6. 個人の情報、データ等の収集・採取方法  （調査・測定項目を具体的に記載すること。  調査用紙等がある場合は添付すること。  メディカルチェック等が必要な場合は、参加の可否を医師が判断することを記載すること。  調査・測定に資格が必要とされる場合は、有資格者が実施することを記載すること。  質問紙調査の場合、回収方法も明記すること。）</p>	<p><b>個人情報：学校が保管している「個別の指導計画書」の中から、生年月日、障害種別、新版K式発達検査による発達指数、小児自閉症評価尺度による自閉症度、特別な興味、目標行動の実態に関する情報を提供してもらう。</b></p> <p><b>データ：ビデオ視聴場面および目標行動に取り組む場面については、訓練された学部・大学院学生がビデオ撮影を行う。</b></p>
<p>7. 対象者が受ける不利益や危険性  （ここでいう「不利益」には、計測器具</p>	<p>1. 不利益の有無  <input type="checkbox"/> 無  <input checked="" type="checkbox"/> 有  (1)不利益の内容：所定の活動に移る前に、これまでになかったビデオ視聴</p>

<p>の装着や、質問紙記載の際にかかる時間等も含まれる場合があるので注意すること。)</p>	<p>が与えられることになるので、ある意味、時間的な拘束を受けることになる。対象児にとっての特別な興味であるヒーローが登場するビデオを視聴するので、視聴そのものについての不利益はないと思われる。ただし、ビデオ視聴後、そのビデオを繰り返し視聴することを求め、次の活動へ移ることを拒否し、担任教師との間に嫌悪的なやりとりが生じる可能性は若干存在する。2 事例で予備調査を行っているが、そこではそうした問題は生じていない。</p> <p>(2)不利益を最小にするための方策：「終わり」がわかるように、ビデオ終了後はすぐに DVD のふたを閉じる（場合によっては片づける）。ヒーローからの音声メッセージ「さあ、(対象児名)さん、(ヒーロー名)と同じように(目標行動)してみよう。」をビデオに挿入する。</p> <p>(3)不利益が発生した場合の対応：子どもがビデオ視聴を繰り返し要求し、教師が次の活動に移動させようとするするとパニックを誘発するような状態が 3 回続くようであれば、指導を中止し、別の方略を教師と共に考える。</p> <p>2. 危険性の有無  <input checked="" type="checkbox"/>無  <input type="checkbox"/>有  (1)危険性の内容と可能性の程度：  (2)危険性を最小にするための方策：  (3)危害が発生した時の対処：</p>
<p>8. 「虚偽 (deception)」使用</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>無  <input type="checkbox"/>有  虚偽の内容：    虚偽を使用することの正当性：    真の目的を対象者に知らせる時期とその説明方法：    虚偽を知らせた後の参加意思の確認方法：</p>
<p>9. 研究対象者または組織への謝礼</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>無  <input type="checkbox"/>有  謝礼の相手と形態、程度（金額、品名、原資の種類等）：</p>
<p>10. 研究参加によって研究対象者に直接的にもたらされると期待される利益 (謝礼は除く。)</p>	<p><input type="checkbox"/>無  <input checked="" type="checkbox"/>有  利益の内容：嫌悪的に感じられた活動に楽しく参加することができる。日常生活において重要なスキルが獲得される。教師や保護者から称賛される機会が増える。</p>
<p>11. 本研究と直接関連する企業とのかわり</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>無  <input type="checkbox"/>有  <input type="checkbox"/>受託研究として実施（資料[ ]）</p>

添付資料の番号と一致させてください。

<p>(企業等との契約書締結予定の場合は、契約書(案)の写しを添付すること。その際、資料番号を明記すること。)</p>	<p>委託元機関名：  <input type="checkbox"/>共同研究として実施(資料[ ])          共同研究先機関名：  <input type="checkbox"/>その他( ) (資料[ ])</p>
<p>12. 研究結果に影響を及ぼすと第三者が感じるかもしれない企業等との経済的利益関係          (項目11に記載した企業等との関係を記入すること。)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>無  <input type="checkbox"/>有          具体的な内容および研究結果を公正に保つための具体的方策：</p>
<p>13. 個人情報の収集</p>	<p><input type="checkbox"/>無  <input checked="" type="checkbox"/>有          収集する個人情報の内容：  <input checked="" type="checkbox"/>氏名          利用目的：担任教師や保護者との情報交換のため  <input type="checkbox"/>住所          利用目的：  <input type="checkbox"/>電話番号・電子メールアドレス等          利用目的：  <input type="checkbox"/>生年月日          利用目的：  <input checked="" type="checkbox"/>その他  <b>個別の指導計画に記載された生年月日、障害種別、新版K式発達検査による発達指数、小児自閉症評価尺度による自閉症度、特別な興味、目標行動に関する実態</b>  <b>利用目的：ビデオヒーローモデリングの適用条件に関する情報を得るため</b></p> <p>匿名化の有無及び方法：  <input type="checkbox"/>無          理由：  <input checked="" type="checkbox"/>有  <input checked="" type="checkbox"/>連結可能匿名化(個人を識別する情報を除去し、新たに符号または番号を付けて匿名化し、対応表を作成する。)  <input type="checkbox"/>連結不可能匿名化(個人を識別する情報を除去し、新たに符号または番号を付けて匿名化し、対応表を作成しない。)  <input type="checkbox"/>外部提供機関で匿名化          詳細：</p>
<p>14. 個人情報(個人情報が記載された対応表)の保管方法</p>	<p>保管責任者：岡山大学大学院教育学研究科・准教授・岡山 教子          保管場所：岡山大学教育学部東棟 0000 教室          アクセス可能者：  <input checked="" type="checkbox"/>申請研究者</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p style="color: red;">部屋番号まで書いてください。</p> </div>

	<input type="checkbox"/> 研究指導者 <input type="checkbox"/> 共同研究者 <input type="checkbox"/> その他（            ）  保管方法： <input checked="" type="checkbox"/> 施錠できる保管庫 <input type="checkbox"/> スタンドアローンのパソコン <input type="checkbox"/> その他（            ）
15. データの保管方法	保管責任者：岡山大学大学院教育学研究科・准教授・岡山 教子 保管場所：岡山大学教育学部東棟 0000 教室  アクセス可能者： <input checked="" type="checkbox"/> 申請研究者 <input type="checkbox"/> 研究指導者 <input type="checkbox"/> 共同研究者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（学部・大学院学生リサーチアシスタント）  保管方法： <input checked="" type="checkbox"/> 施錠できる保管庫（ビデオクリップは暗号付きポータブルUSBに保存） <input type="checkbox"/> スタンドアローンのパソコン <input type="checkbox"/> その他（            ）
16. 収集した個人情報やデータ等の廃棄時期・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な保管期間を経過した後、速やかに廃棄（紙媒体はシュレッダー、電子データは消去あるいは保存媒体そのものを破壊）する。 <input type="checkbox"/> その他（            理由：            ）

部屋番号まで書いてください。

**確認事項**

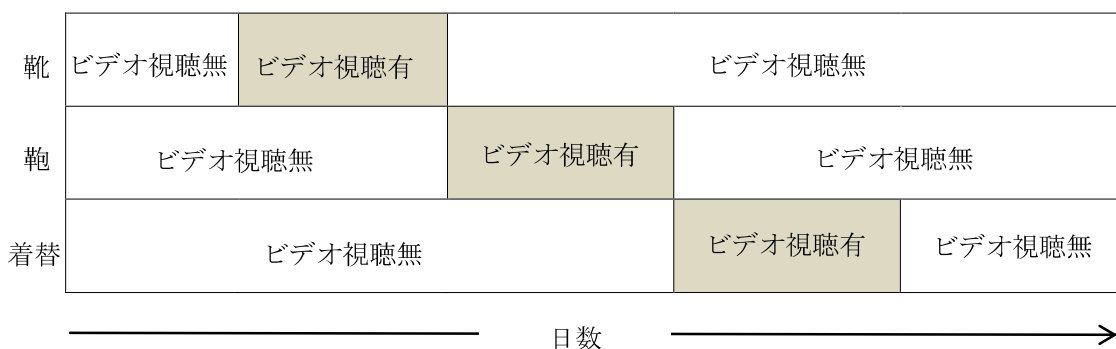
以下の項目を確認した上で□にチェックマークを入れてください。

- 研究実施において本申請書の内容を変更する場合には、変更前に再度審査を受けます。
- 研究対象者に関する問題が生じた際には、ただちに研究倫理委員会に連絡します。
- ヘルシンキ宣言、所属学会の倫理指針、及び「岡山大学大学院教育学研究科研究倫理委員会内規」を読み、そこで示された内容について理解し実行します。

申請者署名： 岡山 教子      年月日      令和3年4月14日

## 研究の概要および介入の説明

それぞれの子どもに対し、個別の指導計画に取り上げられながらも効果が十分に確認されない目標行動を取り上げます。その目標行動を3～4つの具体的な部分目標行動に分けます。例えば、ある子どもの個別の指導計画の中に「朝のしたくを教師の援助なしでスムーズに行う」が取り上げられていたとすると、その目標行動は「靴の履き替えを教師の援助なしで1分以内に行う」「靴の中にある提出物を所定の場所に教師の援助なしで1分以内に提出する」「服の着替えを教師の援助なしで4分以内に行う」といった具合に3つの部分目標行動に分けられます。それぞれの部分目標行動に対して、その効果を確認しつつ、以下の図が示すようにビデオヒーローモデリングを順次実施していきます。



ビデオ視聴のさせ方は以下の通りです。

1. 目標行動の出現が求められる場面に移動する前に、担任教師が「～のビデオを見よう」と言って子どもを座席に誘います。子どもによっては、視覚支援を用い、次の活動がビデオ視聴であることを知らせます。

2. 子どもが椅子に座ったところで DVD プレーヤーのビデオをスタートさせます。ビデオには、目標行動が求められるエリアに子どものヒーローが現れ、そのヒーローが目標行動のモデルを示しているシーンが映し出されます。たとえば、「着替えを1人で4分以内に行う」では、左図のように、その子どもが毎日着替えをするエリアに彼のヒーローであるティラノサウルスが現れ、着替えをスムーズに行うシーンが流されます。ビデオの長さは1分程度を予定しています。



3. ビデオ視聴中、担任教師は後ろから見守ります。
4. ビデオ視聴後、担任教師は通常の日課に従い、目標行動の出現が求められるエリアに通常のはたらきかけを行いながら子どもを移動させます。そこでは、担任教師によるこれまで通りの実践が展開されます。
5. ビデオ視聴の様子や標的行動に取り組む様子については、3メートルほどの距離から学生によってビデオ撮影されます。



A 県立 B 特別支援学校校長 \_\_\_\_\_ 先生

岡山大学大学院教育学研究科

准教授 岡山 教子

## 実践研究へのご協力をお願い

日頃よりお世話になっております。このたびは、貴校において実践研究をさせていただきたく、ご依頼を申し上げます。

私は現在、自閉症スペクトラム障害（ASD）児の日常生活行動の改善に貢献する「特別な興味」を活用した指導法の開発研究を進めております。ASD 児の興味の対象はさまざまですが、児童期の ASD 児の中には、機関車トーマスやアンパンマン、ポケモン、恐竜、昆虫など、テレビや映画、漫画でのキャラクターや生物等に対して「特別な興味」を示す者が少なからず存在します。この特性を指導の中に生かそうという発想の下、私が開発した方略がビデオヒーローモデリングです。このビデオでは、子どもが学習・生活する場に特別な興味（ヒーロー）が登場し、その子どもに身に付けてほしい行動（目標行動）をヒーローがモデルとなって示す様子が映し出されます。本研究では、この指導法の有効性の検証を行いたいと考えております。有効性が認められれば、ASD 児が楽しみながら日常生活スキルを獲得できる指導法を教師や保護者に紹介することにつながります。

研究への参加は自由に判断することができ、子どもが示すネガティブな言動や指導効果への疑念により、参加中のいつでも中断できることを担任教師や保護者には説明いたします。また、参加しないことや中断したことによって不利益を生じないことを説明いたします。なお、研究の概要や課題の説明（資料 1）、担任教師への依頼書（資料 3）、保護者への研究内容の説明および研究の承諾に関する書類（資料 6, 7）を添付いたしました。ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。なお、年度末になりましたら、研究結果の概要をご報告いたします。

何卒、ご協力をお願いいたします。

この研究は岡山大学大学院教育学研究科研究倫理委員会の承認を得て、研究参加者の皆様に不利益がないよう万全の注意を払って行われています。参加同意書の提出に関わらず、不利益を受けず研究参加者となることを随時撤回することができます。研究の内容に関してご意見ご質問などございましたら、お気軽に研究責任者にお尋ね下さい。

研究実施責任者 岡山大学大学院教育学研究科 准教授 岡山 教子

TEL : 086-999-9999

e-mail: kokayama@okayama-u.ac.jp

また、本研究に関して倫理的問題等がございましたら、岡山大学大学院教育学研究科研究倫理委員会までご相談下さい。

研究倫理担当：ed-contact@adm.okayama-u.ac.jp

資料3

A 県立 B 特別支援学校小学部 \_\_\_\_\_ 先生

岡山大学大学院教育学研究科

准教授 岡山 教子

実践研究へのご協力をお願い

日頃よりお世話になっております。このたびは、貴クラスにおいて実践研究をさせていただきたく、ご依頼を申し上げます。

私は現在、自閉症スペクトラム障害 (ASD) 児の日常生活行動の改善に貢献する「特別な興味」を活用した指導法の開発研究を進めております。ASD 児の興味の対象はさまざまですが、児童期の ASD 児の中には、機関車トーマスやアンパンマン、ポケモン、恐竜、昆虫など、テレビや映画、漫画でのキャラクターや生物に対して「特別な興味」を示す者が少なからず存在します。この特性を指導の中に生かそうという発想の下、私が開発した方略がビデオヒーローモデリングです。このビデオでは、子どもが学習・生活する場にその子どもの特別な興味(ヒーロー)が登場し、その子どもに身に付けてほしい行動(目標行動)をヒーロー自らがモデルとなって示す様子が映し出されます。本研究では、この指導法の有効性の検証を行いたいと考えております。有効性が認められれば、ASD 児が楽しみながら日常生活スキルを獲得できる指導法を教師や保護者に紹介することにつながります。

A 先生にお願いしたいことは、①子どもの選定、②それぞれの子どもの目標行動とヒーローの選定、③ビデオ視聴の場所と時間の選定、④ビデオの内容と長さの適切性評価、⑤目標行動の観察場面の選定、⑥保護者との面談の仲介、⑦ビデオヒーローモデリングの実施です。

研究への参加は自由に判断することができ、子どもが示すネガティブな言動、あるいは指導効果への疑念等により、参加中のいつでも中断できることを保護者には説明いたします。また、参加しないことや中断したことによって不利益を生じないことを説明いたします。なお、研究の概要や介入方法の説明(資料1)、保護者への研究内容の説明および研究の承諾に関する書類(資料6、7)を添付いたしました。ご確認のほどよろしくご依頼申し上げます。なお、年度末になりましたら、研究結果の概要をご報告いたします。

何卒、ご協力をお願いいたします。

この研究は岡山大学大学院教育学研究科研究倫理委員会の承認を得て、研究参加者の皆様に不利益がないよう万全の注意を払って行われています。参加同意書の提出に関わらず、不利益を受けず研究参加者となることを随時撤回することができます。研究の内容に関してご意見ご質問などございましたら、お気軽に研究実施責任者にお尋ね下さい。

研究実施責任者 岡山大学大学院教育学研究科 准教授 岡山 教子

TEL : 086-999-9999

e-mail: kokayama@okayama-u.ac.jp

また、本研究に関して倫理的問題等がございましたら、岡山大学大学院教育学研究科研究倫理委員会までご相談下さい。

研究倫理担当 : ed-contact@adm.okayama-u.ac.jp

承諾書

岡山大学大学院教育学研究科  
岡山 教子 様

私は「ビデオヒーローモデリングの効果に関する研究」について、その目的、方法、意義について十分な説明を受けました。また、本校において研究を実施するにあたり、本校の児童及び保護者に対しての倫理的配慮と個人情報の守秘についても確認しました。本研究への協力を承諾しなくても何ら不利益を受けないことも確認した上で、研究への協力を承諾します。ただし、この承諾は、あくまでも私及び児童自身及びその保護者の自由意志によるものであり、不利益を受けず随時撤回できるものであることを確認します。

平成 年 月 日

学校名

学校長氏名（自署）

承諾書

岡山大学大学院教育学研究科

岡山 教子 様

私は「ビデオヒーローモデリングの効果に関する研究」について、その目的、方法、意義について十分な説明を受けました。また、本校において研究を実施するにあたり、本校の児童及び保護者に対しての倫理的配慮と個人情報の守秘についても確認しました。本研究への協力を承諾しなくても何ら不利益を受けないことも確認した上で、研究への協力を承諾します。ただし、この承諾は、あくまでも私及び児童自身及びその保護者の自由意志によるものであり、不利益を受けず随時撤回できるものであることを確認します。

平成 年 月 日

学校名

担任氏名（自署）

## 「ビデオヒーローモデリングの効果に関する研究」の説明

## 1. 研究の意義と目的

自閉症スペクトラム障害のある子どもの中には、機関車トーマスやアンパンマン、ポケモン、恐竜、昆虫など、テレビや映画、漫画でのキャラクターや生物等に対して「特別な興味」を示す者が存在します。この特性を指導の中に生かそうという発想の下、私は「ビデオヒーローモデリング」を開発いたしました。このビデオでは、子どもが学習・生活する場に特別な興味（ヒーロー）が登場し、その子どもに身に付けてほしい行動（目標行動）をヒーローがモデルとなって示す様子が映し出されます。本研究では、この指導法の有効性の検証を行いたいと考えております。有効性が認められれば、キャラクターや生物等に特別な興味を示す子どもが楽しみながら日常生活スキルを獲得できる指導法を教師や保護者に紹介することができます。

## 2. 参加期間と具体的な方法

担任教師の協力の下、3つの目標行動を選び、指導の順番を決めます。1番の目標行動に対して、その目標行動が求められる場面に移動する前に、ヒーローが目標行動を示す1分ほどのビデオを視聴させます。その後、目標行動が求められる場面に移動し、教師による通常通りの指導を受けます。効果が確認されたところで2番目の目標行動に対して、1番目と同様の手続きでビデオを視聴させます。と同時に、1番目の目標行動に対するビデオ視聴を行わないようにします。3番目の目標行動についても同様の流れで進めます。研究期間は2018年3月までを予定しています。

## 3. 研究参加者として選定された理由

この研究では、知的障害のある自閉症スペクトラム障害であり、かつキャラクターや生物に特別な興味を持つ児童に対するビデオヒーローモデリングの効果を検討することを目的としています。従いまして、これらの特徴を持つ子どもの保護者の皆様にお声がけさせていただきました。

## 4. 研究への参加

研究への参加につきましてはご自身で決めてください。説明を聞いてお断りいただくこともできます。

## 5. 同意後の撤回

一度参加を決めてから途中で辞退されることになったとしても、何ら不利益な対応を受けることはございません。途中で参加を辞められるときは、それまでに収集したデータをどのようにすることを希望されるのか、分析対象としてよいのか廃棄を希望されるのかをお聞かせいただければ、それに従ってデータを取り扱います。

## 6. 研究に参加することにより期待される利益

これまで取り組むことを拒否していた日常生活活動に積極的に取り組む子どもの姿が期待されます。子どもにとっては楽しみながらスキルを獲得できること、教師や保護者にとっては、子どもに受け入れられる支援方法を獲得できることが期待されます。

## 7. 予測される危険、心身に対する不快な状態や影響

ビデオ視聴それ自体は子どもにとって楽しいことだと思いますが、「もっと見たい」という気持ちが強くなり、次の活動に移ることを拒否したり、無理やり次の活動に移されることによって情緒不安定になったりする可能性があります。ただ、これまでの予備調査では、ビデオ終了後、すぐに

目標行動が求められる場面に移動することが確かめられています。また、次の活動に移りやすくするために、ヒーローからの音声メッセージ（例えば、「○○くんも、（ヒーロー名）のように（目標行動）をやってみよう」）をビデオに挿入したり、終わりが明確になるように、ビデオ終了後はすぐにDVDのふたをしめたりするなどの工夫を考えています。

#### 8. 研究成果の公表の可能性

この研究の成果は、学術会議や研究誌において発表いたしますが、論文や発表では個人が特定できないような表記にて発表いたします。もし、お認めいただけるのであれば、学術会議での発表の際、映像や写真を用いて発表させていただければと思っております。映像や写真の利用の可否についてお聞かせください

映像・写真の公開に同意する。

##### 1) 映像・写真の加工

顔が特定できないように加工した上で公開する

加工せず、そのまま公開する

##### 2) 公開の範囲

映像・写真

写真のみ

#### 9. 研究結果の概要説明

研究終了後、研究結果の概要につきまして書面でご報告いたします。

#### 10. 個人情報の取り扱い

収集する個人情報は、氏名、研究開始時の年齢、診断名、新版 K 式検査による発達指数、小児自閉症評定尺度による自閉症度、個別の指導計画の内容、目標行動の映像、ビデオ視聴時の映像です。個人情報の管理は研究実施責任者が行います。個人情報を保護するため、研究データのお名前は研究データから取り除き、仮名に置き換えて紙媒体で管理いたします。データの開示や廃棄の希望にお応えするため仮名とお名前の対応表を作成いたしますが、鍵のかかる棚にて厳重に保管し、研究実施期間（2018年3月）が終了しましたらシュレッダーで裁断し廃棄いたします。

ビデオデータについては、それ専用の暗号付きホータブル USB にて保存し、鍵のかかる棚にて研究実施責任者が必要とする期間、保管いたします。不必要になった際には消去いたします。

ビデオデータ以外の個人情報にアクセスできるのは、研究実施責任者のみです。ビデオ撮影とビデオデータの分析では、3名の学部・大学院生に協力してもらいますが、ビデオデータの分析作業はすべて研究実施責任者の監督の下、研究実施責任者の研究室にて行われます。研究室外への持ち出しはございません。

なお、本同意書は、少なくとも5年、それ以降は研究実施責任者にて必要とする期間、保管いたします。

#### 11. データの取り扱い

匿名化し、個人が一切特定されない形にしたデータは、それ専用のポータブル USB および紙媒体に保存され、研究実施責任者の下に研究に必要な期間、鍵のかかる棚にて厳重に保管いたします。研究実施期間である2018年3月までは、データの開示や廃棄の請求に応じることができます。不必要になった紙媒体はシュレッダーで裁断後に廃棄し、電子データは消去いたします。

#### 12. 研究に関する資金源

この研究は、日本学術振興会科学研究費の助成を受けて実施いたします。

13. 研究実施責任者の所属・職名・氏名

この研究は、以下のメンバーにて行います。

研究実施責任者： 岡山 教子（岡山大学大学院教育学研究科・准教授）

14. 研究に対する問い合わせ先

研究内容に関するご質問は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究実施責任者： 岡山 教子

住所：〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学大学院教育学研究科

連絡先 TEL：086-999-9999 email：kokayama@okayama-u.ac.jp

15. 研究者の研究倫理に関する相談窓口

この研究は、岡山大学大学院教育学研究科研究倫理委員会の承認を得て行われています。研究者の研究倫理等に関するご相談は、岡山大学大学院教育学研究科庶務グループ研究倫理担当において承ります。

研究倫理担当：ed-contact@adm.okayama-u.ac.jp

以上のとおりですが、わからないことがありましたら何でもご質問ください。

理解し、同意いただければ、「同意書」に署名してください。

理解できなかった部分、もう一度詳しく説明してほしいことがあればご質問ください。再度、説明いたします。

同意書

私は、「ビデオヒーローモデリングの効果に関する研究」に参加することについて、詳しい説明を受け、十分理解し納得できましたので、研究に参加することに同意し署名します。

平成 年 月 日

研究実施責任者： 岡山 教子 様

研究参加者 氏名（自筆署名）  
連絡先住所（  
電話番号（

保護者等氏名（自筆署名）  
参加者との続柄（  
連絡先住所（  
電話番号（

説明担当者（岡山大学大学院教育学研究科・准教授 岡山 教子）



## インフォームド・コンセント内容確認シート

	項目	書面	口頭	該当なし
1	研究の目的・意義	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	参加期間及び具体的な方法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	研究対象者として選定された理由	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	研究への参加は任意であり、参加を辞退する権利、または研究への参加を撤回する権利を研究開始後であっても有すること	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	研究への参加に同意しないこと、あるいは研究への参加を撤回したことによって不利益な対応を受けないこと	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	研究に参加されることにより期待される利益（金銭等による便益の供与も含む）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	予測されるリスク、危険、心身に対する不快な状態や影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	成果の公表、研究発表時の個人特定可能性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	研究結果の概要説明	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	収集される個人情報、個人情報を扱う共同研究者の範囲、個人情報の保管方法・保管期間・廃棄方法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	収集されるデータの開示・廃棄請求が可能な期間、データの保管方法・保管期間・廃棄方法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	研究に関わる資金源の有無と名称	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	研究者の所属、職名、氏名	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	研究に関する問い合わせ先	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	研究者の研究倫理等の苦情窓口の連絡先*	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

\*研究者の研究倫理等についての苦情の窓口は以下をご案内してください。

(庶務グループの電話番号・メールアドレス)

## 研究倫理確認リスト（提出用）

1. 申請書に書かれた内容が以下の基準を満たすかどうかについて確認をしてください。

項目	具体的内容	適切	迷っている	該当なし
① 対象者の選出基準とその根拠	・研究目的に合った対象者のみが選定されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・選定過程で、不公平感や差別感を生み出すようなことはないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 研究対象者に理解を求める方法	・自由意志に基づく参加が保障されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・必要な情報が伝えられているか（インフォームドコンセント確認リストにチェックが入っているか）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・研究対象候補者の実態（理解度、年齢等）が考慮されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・仲介者を立てて説明をする場合、仲介者に確実に説明内容を理解してもらえるような手立てをとっているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	・代諾者を用いる場合であっても、研究対象候補者に可能な限りの説明努力をしているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・研究対象者（代諾者を含む）に研究協力の依頼・説明をしない場合、それが容認される正当な理由があるか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
③ 研究対象者の同意を得る方法	・研究対象者あるいは代諾者からの署名をもらう予定であるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・「同意は得るが署名は求めない」、あるいは「同意を得ない」場合、それが容認される正当な理由があるか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
④ 個人の情報、データ等の収集・採取方法	・訓練を受けた者・資格のある者が研究を実施する予定であるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 対象者が受ける不利益や危険性	・対象者に対して、日常生活で起こりうる範囲を超える精神・心理的な負荷や危害が生じることではないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動・訓練の実施や、食事・睡眠・その他行為の制限、物理的刺激的の供与等を行うことにより、対象者に日常生活で起こりうる範囲を超える身体的な痛みを与える、または我慢や不便を強いることはないか。</li> <li>・対象者が差別を受けたり、その経済状況や雇用・就業上の関係、あるいは私的な関係に損害を与えたりするおそれのある情報など、対象者が社会・経済的に不利益を被ることになりかねない情報を収集することはないか。</li> <li>・対象者に与える不利益や危害等について事前に予測し、それへの対応策がとられているか。</li> <li>・事故等が生じた場合の対応は適切か。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 研究対象者または組織への謝礼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拘束時間や交通費等、対象者への負担を考慮して適切に決められているか。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
⑦ 「虚偽」使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虚偽なしで実行することは実質的に困難であるか。</li> <li>・虚偽の使用が対象者のプライバシーの侵害につながらないか。</li> <li>・虚偽を用いることに伴うデメリットを上回る研究上の意義があるか。</li> <li>・研究終了後できるだけ早い時に虚偽の説明があったこと、及び、真の目的を伝える予定であるか。</li> <li>・虚偽があったこと、及び真の目的の説明後に対象者が当該研究への参加を取りやめ、データを破棄することを要求する権利があることを伝える予定であるか。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
⑧ 研究結果に影響を及ぼすと第三者が感じるかもしれない企業等との経済的利益関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究結果を公平に保つための方策は適切であるか。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
⑨ 個人情報の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集される個人情報は研究目的達成のため</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

収集	に不可欠なものであるか（不必要な情報を収集していないか）。			
⑩ 個人情報やデータ等の保管方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報やデータ等は、鍵のついた保管庫で保管される予定であるか。</li> <li>・データは個人情報とは切り離された形で保管される予定であるか。</li> <li>・個人情報やデータ等をコンピュータに入力した場合には、外部とつながりのないコンピュータで保存される予定であるか。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑪ 収集した個人情報やデータ等の廃棄時期・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報やデータは、必要な保管期間を経過した後、速やかに廃棄（紙媒体はシュレッダー、電子データは消去あるいは保存媒体そのものを破壊）される予定であるか。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑫ 研究対象者や研究協力者への結果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究対象者に結果の報告を行う際、何をどのように伝えるかについて、対象者の立場になって吟味されているか。</li> <li>・研究結果の伝え方について、研究協力機関との間であらかじめ取り決めをする予定であるか（研究協力機関に伝えられることと伝えられないことについて、あらかじめ知らせる予定であるか）。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. 上述の確認リストにおいて「迷っている」にチェックマークを付けた項目、それ以外であっても、特に倫理委員会による確認を求めたい事項があれば、その内容について具体的にお書きください。